

経尿道的膀胱腫瘍切除術を受けられる様へ

説明日 月 日

担当医師

担当看護師

経過 月日	入院日(手術前日) (/)	手術当日 (治療前) (/) (治療後)		手術後1日目以降～退院日
処置			手術後、尿の管が入っています。必要に応じて酸素マスクを装着します。	医師の指示により、尿の管が入っています。尿の管が入っている間は、膀胱内を洗うかん流液が流れています。尿の管を抜いた後は、尿の出具合や色を見るようにしましょう。また、尿を溜めて頂くことがあります。
検査・診察	麻酔科の診察があります。診察の時間は未定です。連絡が入り次第、診察を受けに2階の手術室に行きます。(必ず、麻酔問診票を記入してから麻酔科へご持参ください) ※休日入院の方は、入院前に診察は済んでいますが、麻酔科の先生が挨拶にきます。	<input type="checkbox"/> 手術は(:)の予定です。 <input type="checkbox"/> 手術へ行く時間は決まっていません。(午前・午後)の予定です。	手術前・手術後・手術1時間後・手術2時間後に体温・血圧・脈拍・症状観察をします。	血尿が濃くなったり、尿が出なくなった時はお知らせください。尿の管は医師の指示のもと1週間以内に抜去されます。
投薬	普段内服しているお薬を確認します。持参したお薬から内服していただきます。	朝、看護師が内服するお薬をお伝えします。	手術後、食事が開始したら内服薬を再開します。	
点滴		手術室で点滴をします。	点滴は翌日まで続きます。	点滴終了後、針を抜きます。
安静度	制限はありません。	手術前の制限はありませんが、手術時間までは病室でお待ち下さい。	手術後はベット上で安静になります。トイレへ行くことはできません。排便時はベッドの上で簡易便器を使用します。	朝の体温・血圧・脈拍・その他の症状に問題がなければ朝から歩行が可能となります。排便時に無理にいきんだり、お腹に力を入れたりなど腹圧をかけないようにしましょう。
清潔	シャワー浴ができます。			体拭きを手伝います。医師の指示により、尿の管が抜けたら、シャワー浴ができます。
食事		0時以降の食事は禁止です。脱水症状を予防するために、準備してある飲み物(水・お茶・スポーツドリンク)を0:00～(:)までに飲んでください。飲んだ量を看護師へお伝えください。	帰室後、医師の指示により(:)時から飲水が可能になります。その際は看護師からお伝えします。問題がなければ()食から食事が再開となります。	食事・飲水の制限はありません。尿をきれいにするため、感染症を予防するために水分を多めに取るように心がけてください。(目標1.5～2リットル)
説明指導	病棟・手術のオリエンテーションを行います。	手術室へ行く前に、眼鏡・補聴器・コンタクトレンズ・入歯・時計・アクセサリ・かつら・湿布などの装飾品は全て外します。	痛み、吐き気、呼吸困難感、尿をしたい感覚、寒気がある場合は看護師にお知らせください。	ご自宅での日常生活の注意点を説明します。退院時に次回の予約表と診察券をお渡しします。
その他	手術の同意書をお預かりします。飲み物(水・お茶・スポーツドリンク)を1本購入してください。弾性ストッキングを看護師がお渡しします。(看護師がサイズを測定します)	弾性ストッキングを履いて徒歩、または車椅子で手術室へ行きます。	ベッドで病室に戻ります。翌朝まで、足の血流を良くするために、マッサージの機械を装着します。	

上記のスケジュールにそっての入院生活になる予定です。予定は変更になる場合があります。ご不明な点は遠慮なくお尋ねください。

注)1 入院期間については、現時点で予想されるものです。

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 2024/12月改訂/2011年8月改訂/2016年2月改訂

/2017年10月改訂